



# まいばらか

苅田町青少年育成町民会議だより

## 苅田町青少年育成町民会議設立25周年記念事業

### ★親子ふれあい広場★開催

“ひろみちお兄さんと親子で体操を楽しみましょう!”



平成25年11月23日(土)

テレビ、CM「背すじピーン」でおなじみの元NHK体操のひろみちお兄さんが苅田町の総合体育館に来てくださいました。

当日は、500名の参加者のもと、親子でスキンシップ体操に満足気な笑顔と歓声。あっという間に時間が過ぎ「もっと続けたい」「また、こんな機会が欲しい」という声が聞こえてきました。

子どもたちの笑顔は、未来の光です。今後もたくさんの輝く子どもたちを見守り、楽しい行事を考えていきたいと思っています。



青少年を明るくのびやかに育てよう



# 家庭教育講演会

## 演題「漢字から学ぶ子育て」

講師 日本文学文化機構 専務理事 宇佐美 公有氏

宇佐美公有氏は、漢字文化を通して「新しい文字学」を提唱し、全国的に普及活動を展開しています。

### 講演会趣旨について

昨今の混沌とした社会情勢を招いた人間社会において、人間としての日常生活での心の在り方について今一度反省する時を迎えている。戦後の学校教育において入試優先と経済界の営利追求主義と科学文明の発達による人間のおこり等の弊害が畏敬の心を失わせ、その様な過信が利己主義や過度の競争心をあおり、その結果、営利優先の謙虚さや人や自然へのいたわりと感謝の心の欠如を家庭においても、優しさといったわりの心を有する家族の育成が求められ、「新しい文字学」の成果が注目されている。

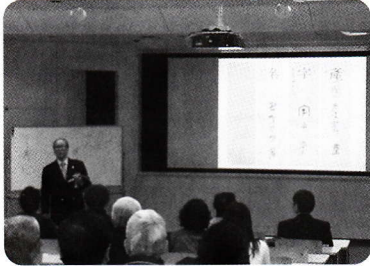
【生命とは】  
【生】「字書」セイ・シウ（シヤウ）  
【字訓】はえる・うまれる・うむ・いきる

【象形】  
生は芽生え出る形。  
すべて新しい生命のおこることをいう。

「新しい文字学」は国語教育において漢字の成り立ちなどを通じて、文字に秘められた思想・歴史・営みなどを紐解き、その意義などを平易に解説し、倫理（生命の尊厳・人格の尊重・自然の恩恵）までに波及する目的をもったものです。家庭学習に活かし、親として子との触れ合い方と育成方法に役立ててほしい。

学んだ知識を知恵に代え、世の中の人のためになるような子を育てよう。

一時間と云う短時間のため文字解説は、わずかで時間が足りなかったのが残念だった。



## 福岡県青少年育成県民会議から

### 平成25年度「オアシス運動」・「家庭の日」入賞者～おめでとございます～

#### 作文の部

奨励賞

南原小6年

片山 鈴音

#### ポスターの部

奨励賞

白川小4年

小川 杏華

## オアシス運動

南原小6年 片山 鈴音

私は、朝元気にあいさつするようにしています。なぜなら、朝から元気になるし、落ちこんだりして、暗かったりしたときでも、友達から元気に「おはよう」と声をかけられると、今日も楽しくなるような気持ちになってくるからです。それに、道ですれちがう地元の人にあいさつをすると、やさしく元気にあいさつを返してくれます。顔も知らないで、ただすれちがっただけで、やさしくあいさつをしてくれる地元の人達と会って、やさしい気持ちになってきます。「おはよう」だけでなく、いろいろなあいさつで、みんな元気になったり、やさしい気持ちになります。たとえば、ケンカをした友達に心をこめて、「ごめんね」というと「気持ちが伝わって仲直りできるし、友達が助けてくれたり、自分が友達を、助けたりして、「ありがとう」と言ったり言われたりすると、言った方も、言われた方もいい気持ちになって、やさしくなります。あいさつで、印象が変わったり、いつもの生活が楽しくなります。だから、私はあいさつで、だれでもやさしくなれるまほうだと思います。でも、そんなまほうを知らない人や、バカにしている人、はずかしがって言えないもつたない人もたまに見かけます。私がいさつをしても、「なんで見知らぬ人にあいさつをしないといけないんだ」といやがる人もいるし、気づいているのに知らんふりをする人もいます。でも、そんな人もいてとうぜんです。だからこそそんな人達にもあいさつの意味や、大切さを分かかって、いい気持ちになって、あいさつの力を知ってほしいです。そして、これからあいさつを元気にする人が増えて苅田町や福岡県が元気になって、日本も元気でやさしい国になったら、いいと思います。これから、私もいろんな人にあいさつをして楽しい生活をおくっていこうと思いました。



# 嬉野市青少年育成市民会議視察研修を終えて

菊田町青少年育成町民会議 副会長 三角 主計

11月26日当町民会議24名と共に佐賀県嬉野市青少年育成市民会議に視察研修に訪れました。嬉野市は、平成18年1月1日に嬉野市と塩田町が合併し、人口28,000人・世帯数9,000世帯余りの菊田町より人口・世帯数共に少なめな都市ですが、お茶の生産では全国的に有名な所です。また、緑豊かな風光明媚な土地柄で和泉式部が幼少を過ごされたことでも知られております。

嬉野市民会議の取組の中で、夢づくり支援事業として子どもたちに、あなたの「夢～ゆめ～」は何ですか？と学校単位で募集し、毎年希望の多い夢の一つ実現していることは非常に印象に残りました。

例えば『ログハウス』づくり・『気球・バルーンに乗ってみたい』・『プロ野球の選手やプロのサッカー選手に教えて貰いたい』・『世界的に有名な画家に手ほどきを受けたい』その他ユニークな子どもたちの夢を平成10年から毎年実現しているそうです。また、菊田町では出来ないスキー教室を毎年1月に開催している事はうらやましい限りです。マンネリ化した町民会議を改善発展させるべく気持ちを新たにがんばろう！



## 平成25年度菊田町青少年育成町民会議役員・委員講演会が開催されました —安全・安心のまちづくり—

平成26年3月4日午後6時から、菊田町三原文化会館大ホールにおいて、平成25年度菊田町青少年育成町民会議講演会が開催されました。講師には、福岡県行橋警察署生活安全課長 川口和彦氏をお迎えし、平日の時間帯にもかかわらず、多くの参加がありました。紙面上ではありますが、参加いただいた皆様にお礼を申し上げます。

始めに、行橋警察署管内における直近の犯罪等の発生状況について、お話がありました。刑法犯の合計は1,671件で、その内、性犯罪、強盗、車上ねらい盗の街頭犯罪は915件で、昨年に比べ減少しているとのことでした。特に、自転車盗やオートバイ盗の乗り物盗の減少が著しいとのことでした。このような少年非行に直結する犯罪が減少している反面、性犯罪や侵入盗が増加傾向にあり、これらの減少が今後の課題であるとお話がありました。

次に、民間団体等による青色パトロールカーの巡回について、お話がありました。青色パトロールカー、通称「青パト」は、平成18年福岡県の「ストップ非行県民運動」の一環として始められたものです。行橋警察署管内には94台の青色パトロールカーがあり、菊田町には18台の青色パトロールカーが配置されています。菊田町では、毎月、4つの公民館持ち回りで「夜間一斉パトロール」を実施していますが、全町挙げての取組みに対して高い評価とねぎらいのお言葉がありました。

次に、地域ボランティアによる防犯活動について、お話がありました。防犯活動に従事する地域ボランティアとしては、県下の警察署内に組織化されている「少年補導員」制度があります。近年では、青色パトロールカー活動の活発化をきっかけに、民間団体等による地域ボランティアが各地に創られるようになりました。菊田町では、平成17年に西日本工業大学の学友会を中心に「西工大ニコニコ隊」が発足し、毎月40名程度で小波瀬キャンパス周辺地域の防犯活動や清掃活動が行われています。



最後に、行橋警察署管内では、東九州自動車道等の開通により人や物の往来が増え、将来的に犯罪等の増加が予想されることのお話がありました。地域の安全・安心は、警察署だけでは守りきれものではありません。犯罪の防止には、地域に住んでいる私達の参加や協力が不可欠です。菊田町青少年育成町民会議も地域ボランティアの代表として、今後ますますその役割が期待されるところです。

(少年補導員 金丸晴樹)

## 「非行防止コーディネーター」の 配置について

菊田町教育委員会では、学校との連携による少年の非行防止及び犯罪被害防止を目的に平成18年4月1日から、「非行防止コーディネーター」を導入しています。

平成25年4月1日付けで、経験豊富な警察OBの中尾嘉文氏が配属され、菊田町の各小・中学校において教育委員会と学校と警察のパイプ役を務めております。



活動としては、

- 青色回転灯を装着した青色パトロールカーによる町内巡回
- 児童生徒の登下校時に子どもたちを守る活動
- 非行防止学習等への支援等の各種活動を行っています。

## 子どもたちを見守る

## 不審者・変質者の出沒について

平成25年4月に入ってから平成26年1月末までに町内では、11件(昨年度同時期10件)の不審者・変質者が出没しています。子どもたちが被害に遭う前に防ぎたいものです。

町民皆様方のご協力・ご支援により児童・生徒の安全を見守ってください。

### 出沒状況

- 場 所 新津2丁目付近
- 対象者 下校中の児童
- 被 害 「車で乗せて帰ろう」「写真撮影」  
窓を開けたまま手を伸ばす

不審者等に気付いたら、すぐ110番  
または、近くの学校へ連絡ください。





**平成26年 1月26日(日)中央公民館**



体験から学ぶということは、聞いたことは忘れる。見たことは思い出す。  
体験したことは、理解できる。発見したことは、身につく(イギリスのことわざ)

ある本にサンマがない!!…よく読むと「時間、空間、仲間」3つの「間(マ)」が無いと言うことでした。あそびはストレスが無く心の安定をもたせてくれる。おそらく、刺激がある。子どもの発達段階であそびは変化していく。学んだだけでは、良き社会人になれません。「よくあそび 良く学べ」のように体験を通して、教えられたことが理解でき成長していくものと思います。



対象者:新中学生、高校生 問合せ先:荻田町子ども会育成連合会(中央公民館内)



おかあさん！貴方は、子どものためにとれだけ、おかあさんをしていきますか？子どもが出来るのと子育てと家事に追われ、自分のことまで手が回りませんよね。自分のことは、いつも後回し。「無理！無理！」時間が足りません。しかし、近頃とてもきれいなおかあさんが多いこと。それで働くおかあさんも多いので独身かなと間違えてしまいます。そこでバァーバァは思います。





# 片島小には…楽しい学習がいっぱい!

教育活動に豊かな体験活動を取り入れようと、学校と地域が一体となって取り組んでいる「ふるさと学習」。この体験活動を通して、地域の伝統文化をより深く学ぶとともに地域の方たちへの尊敬や感謝の気持ちを育んでいます。

## ふるさと学習



1,2年 お話会



3,4年 天神神楽



5,6年 俳句



## ふれあい学習

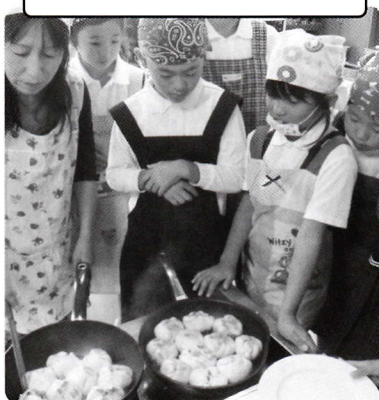
毎年、秋、地域の方に来ていただいて「ふれあい学習」を行っています。

地域の方と一緒に「ものづくり」の時間を持つことによって、地域の方の技や知恵のすばらしさを実感しています。



地域の方への尊敬の  
気持ちと感謝の気持ちを  
育てていきます。

縦割り班で、教えていた  
だきます。





# 『放課後子どもひろば』紹介⑦

町内6校の小学校を順に紹介させていただきます。今回は、苅田小学校です。

## 地域とのかかわり



老友会の皆様の、見守り活動へ協力の様子。



地域の活動グループのひろばでの演奏会



苅田中学校 リード部のみなさんのハンドベル演奏



自由学習室で勉強する様子

## 日々の活動の様子

たくさん子どもたちがひろばを利用しています

苅田町役場 子育て支援課  
TEL 093-588-1036



体育館では大勢の子が元気に遊んでいます。



## ちょっと質問!! 『ひろばへの登録方法は?』

事前に登録説明会へ参加し、手続きを行ってください(随時登録はできません)。今後の登録説明会の予定は5/1(木)、7/1(火)、9/1(月)、11/4(火)、1/5(月)です。会場は三原文化会館ホールで14時より行います。印鑑と登録料400円が必要です。(3月の説明会は終了いたしました)

注意:新1年生の参加は学校生活になれた5月からとなります。

子どもひろばは毎年更新手続きが必要です。更新手続きがお済みでない方は4月1日からの参加が来ません。



## 苅田町 ふれあいマラソン大会

平成26年3月2日(日)

苅田町青少年育成町民会議では、後援ということでゴールをした選手の方々にタオルを配布いたしました。

天候にも恵まれ、絶好のマラソン日和でした。



編集・発行  
苅田町青少年育成町民会議  
すこやか編集委員会  
☎ 093・434・9838

平成25年度すこやか編集委員  
編集長  
松枝 玲子  
濱田 勝枝  
原 育子  
田口 朝子  
金丸 晴樹  
井上 裕介

私は、近頃初めての入院手術をした。術後、心不全になり、他の病院へ緊急搬送され、初めてのICU等いろんな経験をし、不思議の国に迷い込んだ気分だった。緊急搬送で動転している私に暖かい優しい言葉がけをしてくれ、励ましてくれた若き医師のおかげで、その後は不安な日々を過ぎすに済んだ。どんな神社のお守りより、先生の優しさが私のお守りとなった。

優秀な頭脳をもつだけでなく、優しく人を思いやる心を持った若き医師に出会えたことは、とても幸せだった。それと同時に、愛と思いやり、忍耐を教える育て方をされた医師の親御様には、敬服した。

真っ白で美しいキャンパスを持った子ども。良いことも悪いこともそのまま写し取る。ピュアな子どもに愛と思いやり、忍耐を教える育て方をし、いろんな経験をさせてあげられたらと思う。

松枝 玲子

編集後記